

います。ポスターサイズは(W900 mm×H1,800 mm)で作成してください。演題番号、演題名、演者名は運営事務局で作成しますのでポスターに含める必要はありません。

掲示提出/撤去受け取り場所：総合案内(東京国際フォーラム B1F ロビーギャラリー)

掲示提出時間：5月22日(木)9時～12時(時間厳守)

撤去受け取り時間：5月25日(日)13時～15時

※15時までに受け取りに来ない場合は、廃棄いたします。

7. 当日の無断欠席について

第98回学術総会において発表時間前までに連絡なく欠演した場合、筆頭演者は次回(第99回学術総会)の一般演題で採択されませんのでご注意ください。

V. 座長の皆様へ

- 現地会場で座長をしていただきます。

1. 口演発表の座長

担当セッション開始時刻の15分前までに、会場内の次座長席にご着席ください。進行は時間厳守でお願いいたします。一般口演以外の座長で、座長スライドを使用される方は、セッション開始1時間前までの間に「PCプレビューセンター」で手続きをお済ませください。一般口演の座長は座長スライドの使用はできませんのでご了承ください。詳細は「Ⅲ. 口演発表機材とデータ受付について」をご参照ください。

2. デジタルポスター発表の座長

担当セッションのポスター発表時間の15分前までに、「ポスター受付」にお越しください。各演者の発表時間は3分間、討論時間は2分間です。進行は時間厳守でお願いいたします。

VI. 質疑応答にて発言される皆様へ

質疑応答で発言される方は、口演ではあらかじめ会場内マイクの前に並んでお待ちください。ポスター発表で発言される方は挙手でお知らせください。質疑応答は座長の指示に従い、所属・氏名を述べたあと簡潔に発言してください。質疑応答での発言の際、スライドなどは使用できません。

VII. 日整会教育研修単位を取得される皆様へ

1. 教育研修単位取得の手続き

(1) 単位取得には1単位につき1,000円(消費税10%を含む)の手数料がかかります。

(2) 学術総会での取得可能単位数の上限は、1日7単位、会期中合計28単位です
オンデマンド配信中の取得可能単位数の上限は16単位です。

現地+オンデマンド(ハイブリッド)の場合、現地+オンデマンドを合計して最大28単位です。(そのうちオンデマンドは最大16単位)

※例；現地で10単位取得済の場合、オンデマンドでは16単位まで取得可能
現地で12単位取得済の場合、オンデマンドでは16単位まで取得可能
現地で14単位取得済の場合、オンデマンドでは14単位まで取得可能

なお、単位数の上限に、第98回学術総会参加単位、研修指導者講習会、骨・軟部腫瘍特別研修会、小児運動器疾患指導管理医師セミナー、他学会の単位は含まれません。

学術総会参加方法	取得可能単位数
現地参加のみ	28単位
オンデマンド配信期間中の参加のみ	16単位
ハイブリッド参加 (現地参加+オンデマンド配信期間中の参加)	28単位 オンデマンド配信期間中の取得単位 (最大16単位)を含む

- (3) 第98回日本整形外科学会学術総会において教育研修単位を取得できる講演は、理事長講演、基調講演、文化講演、特別講演、Ambitious lecture、理事会提案講演、Lecture for next generation、教育研修講演、招待講演、JOA/AAOS combined program: Instructional lecture、ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナーです。また、指定されたシンポジウムも単位取得が可能です。

- (4) 単位を取得するには、受講申込が必要です。受講申込には以下の3つの方法があります。

①事前申込

学術総会ホームページから事前参加登録を行った方がのみが、事前受講申込できます。全体の80%程度を事前申込に割り当てます。ホームページから事前申込ください。
事前申込手続期間：令和7年3月5日(水)正午～5月15日(木)正午

②会期中申込

学術総会ホームページから参加登録を行った方がのみが、受講申込できます。今回より会場には現金やカードによる現地当日受付窓口はなくすべてオンライン登録・オンライン決済です。(受講申込は講演開始時間の10分前まで)。全体の20%程度と事前申込残余分を会期中申込に割り当てます。なお、5月24日(土)、25日(日)の講演については、全体の10%程度、当日登録枠を設けます。

③会期後(オンデマンド期間中)申し込み

詳細は学術総会ホームページ(<https://www.congre.co.jp/joa2025>)でお知らせいたします。

下記(5)(6)は現地で単位取得を行う場合のご案内です。

- (5) 学術総会終了から一定期間後、演題名を含む受講記録が日整会会員ページ(JOINTS)の「単位振替 未専門医」のページに表示されます。カリキュラム制研修の専攻医は、専門医申請の際にこのページをプリントアウトして他の必要書類と一緒にご提出ください。

- (6) 講演会場での手続き

講演開始前10分から開始後10分までに、QRコードを講演会場入口の読取機にかざして出席登録を行ってください。10分を過ぎた場合、入場手続きが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。受講手続きを行った講演と実際に受講する講演が異なった場合は、入場時にQRコードを読取機にかざしますと警告音がなり、研修単位取得ができませんのでご注意ください。なお、シンポジウムで単位を取得する場合は、入場時だけでなく退出時にもQRコードを読取機にかざす必要があります。

- (7) 研修単位受講履歴について

学術総会終了から一定期間後、単位が反映されます。単位の反映時期については、学

術総会ホームページにてお知らせいたします。日整会会員ページ(JOINTS)の「資格・単位>専門医>単位振替」で単位取得状況をお確かめください。取得した単位で、複数の必須分野等が認定されている場合、自動的に小さい方の分類番号として登録されます。N1, N3, Rが認定されている場合、自動的にN1になります。N3やRの単位として登録したい場合は、「単位振替」から変更してください。

なお、受講された単位が取得可能単位数を超過した場合や同一時間帯での複数受講記録がある場合は過誤データとして扱われます。「単位振替」で超過分などの削除を行ってください。単位反映後3カ月以内にご自身で訂正されなかった場合には、一定のルールに従って機械的に削除されますのでご注意ください。

【不正受講の禁止等】

学術総会等における講演その他の単位を申請する教育研修の受講は、参加者が高度な学識と技能を習得するために必要なものです。さらに、教育研修単位として申請をされている場合は、わが国における専門医制度の運営の基盤となるものです。オンデマンドプログラムを受講する際に閲覧する動画を「早送り」をするもしくは、同じ時間帯に複数の端末等で再生した場合は、記録している「ログ」をもとに、不正受講が行われたと判断します。不正受講は、学術総会等の意義を毀損するとともに、医師としての資質に重大な疑いを生じさせ、専門医制度の円滑な運営に支障を生じさせる行為です。不正受講をした会員に対しては、単位の不認定は当然として、厳正に対処します。絶対にお止めください。なお、一旦教育研修単位の申請をされた以上は、支払われた受講手続費用は返金しません。

【不正受講とみなされること】

1. 講演の初回視聴をスキップ(早送り)してeテストに合格して単位申請すること。
2. 複数のPC・タブレット等で同時に視聴を行いeテストに合格して単位申請すること。
3. 複数のブラウザやタブを用いて同時に視聴を行いeテストに合格して単位申請をすること。
4. 視聴前にeテストの設問画面にアクセスして解答すること。
5. 複数講演を同時に受講開始しておき、追って順番に視聴すること。
6. 視聴後、時間が経過してからまとめて解答すること。
7. 他人に視聴あるいはeテストを委託して単位申請すること。
8. その他、本学会、教育研修委員会が不正と判断すること。

【不正行為の予防のために】

・eテスト合格後の単位申請について

講演をすべて視聴した後に、すみやかに設問に解答して、正解(共通講習では80%以上)の場合に限り、申請後に単位が付与されます。

・eテスト解答開始までの時間制限

講演の視聴修了後、10分以内に設問の解答を開始した場合に単位申請を認めます。視聴終了後10分を超えた時間が経過してeテストの解答を開始した場合の単位申請は認めません。

・eテスト解答時間の時間制限

解答時間には制限を設けます(領域講習(設問1題、5択形式)は30分以内、共通講習(設問5題、5択形式)は60分以内)。

視聴後、「テスト開始」ボタンをクリックしたら、すぐに解答を始めてください。一度クリックされますと取消しができませんので、制限時間内に必ず解答してください。超過した場合、理由の如何を問わず単位取得は認められません。

- ・初回の早送りや視聴時間の短縮をした聴講による単位申請を認めません。
- ・複数講演の同時視聴あるいはローディングした聴講による単位申請は認めません。
- ・不正受講と認定された場合でも返金はいたしません。
- ・オンデマンド配信の一時停止機能の時間制限

聴講時に一時停止を認めます。ただし、一時停止の上限は累計（停止回数は問わない）で30分とし、それを超えた場合には再受講をしなければなりません。

【特例措置】

子育て中の医師については、特例措置を設けます。申請は、日整会会員ページ(JOINTS)の「eラーニング> eラーニング> 特例措置申請」にお進みいただき、『新規登録』を選択後、申請事由等の入力、母子保健手帳の表紙と1ページ目の写しあるいは障害者手帳の写しを添付し、申請してください。審査後認可された医師に限り、解答時間開始および解答時間の時間制限、一時停止時間の上限を設けません。

特例措置期間は1年間としますが、再申請により延長を可能とします。なお、母子手帳の「子の氏名」部分は伏せてください。また、健常児の特例措置の適用は、未就学児のみとします。

2. 学術総会参加単位の取得(整形外科専門医の先生方へ)

学術総会参加単位は、参加登録を行えば単位反映の際に自動で登録されます。日本専門医機構認定整形外科専門医の学会参加単位は5年間で6単位まで認められます。

	学術総会 参加単位
専門医認定資格を得るための研修期間の会員	—
日本専門医機構認定整形外科専門医	3単位

VIII. 他学会の単位取得について

いくつかの講演が日本リウマチ財団、日本手外科学会、日本リハビリテーション医学会の単位として認定されています(詳細は38-53頁をご参照ください)。受講する前に必ずオンラインにて各学会の「単位受講申込」を行ってください。

本学術総会に参加することで日本リハビリテーション医学会、日本リウマチ学会、日本骨粗鬆症学会の単位が認定されます。単位取得の手続きについては、各学会事務局へお問い合わせください。なお、会期中に産業医の単位を取得できる講演はありません。

IX. 第69回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍特別研修会の開催について

本学術総会において、骨・軟部腫瘍取扱いについての特別研修会を以下の要領で開催いたします。この特別研修会の受講により専門医試験の受験申請に必要な腫瘍の単位1単位が取得できます。

内 容 : 「軟部腫瘍の診断と治療」

講師 畠野 宏史(新潟県立がんセンター新潟病院)

日 時 : 令和7年5月25日(日) 13:25～14:25
会 場 : 第1会場(東京国際フォーラム ホールA)
対 象 : 未専門医(今後、専門医試験を受験予定の方)
定 員 : 3,000名
受講方法 : 日整会誌第99巻第3号(S1303頁)の会告をご確認ください。本研修会の受講には、本学術総会の参加登録が必要です。
オンデマンド配信期間中の受講も可能です。

X. 第38回 日本整形外科学会研修指導者講習会の開催について

内 容 : 1. 「専攻医の評価に関して(仮題)」
座長 田中 栄
(東京大学大学院医学系研究科外科学専攻感覚運動機能医学講座整形外科学)
講師 高橋 誠
(北海道大学大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター)
2. 「整形外科医が知っておくべき保険診療の実際」
座長 山本謙吾(東京医科大学整形外科学分野)
講師 寺門 淳(北千葉整形外科幕張クリニック)
日 時 : 令和7年6月16日(月) 正午～7月16日(水) 16時
会 場 : オンデマンド配信のみ(現地では開催いたしません)
対 象 : 日整会研修施設の指導責任者またはこれに準ずる方
定 員 : なし
受講方法 : 本講習会の受講には、本学術総会の参加登録が必要です。会期終了後、オンデマンド期間中に受講をお願いいたします。

XI. 第9回 日本整形外科学会小児運動器疾患指導管理医師セミナー開催について

日 時 : 令和7年5月25日(日)14:40～15:40
会 場 : 第1会場(東京国際フォーラム ホールA)
内 容 : 「小児運動器疾患指導管理料の算定要件および対象疾患」
座長 鬼頭浩史(あいち小児保健医療総合センター)
講師 落合達宏(宮城県立こども病院)
対 象 : 医師
受 講 料 : 公益社団法人日本整形外科学会会員 1,000円(消費税10%を含む)
会員は本学術総会の参加登録が必要です。受講する前に必ずオンラインにて「受講申込受付」を行ってください。
そ の 他 : 本セミナーを受講すると小児運動器疾患指導管理料の算定が可能となります。
オンデマンド配信期間中の受講も可能です。